



ワクチン	種類	乳児期									幼児期					学童期／思春期								
		生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上	
インフルエンザ菌b型 (ヒブ)	不活化		①	②	③						④ (注1)													
肺炎球菌 (PCV13)	不活化		①	②	③						④	(注2)												
B型肝炎	ユニバーサル		①	②					③		(注3)													
	母子感染予防	①	②						③															
ロタウイルス	1価		①	②					(注4)															
	5価		①	②	③				(注5)															
4種混合 (DPT-IPV)	不活化			①	②			③		④ (注6)							(7.5歳まで)							
3種混合 (DPT)	不活化			①	②			③		④ (注6)							(7.5歳まで)							
2種混合 (DT)	不活化																			⑥11-12歳 (注8)				
																				11歳 ①	12歳			
ポリオ (IPV)	不活化			①	②			③		④ (注6)							(7.5歳まで)							
																							⑤ (注9)	
BCG	生							①																
麻疹・風疹混合 (MR)	生											①											② (注10)	
水痘	生											①			②								(注11)	
おたふくかぜ	生											①											② (注12)	
日本脳炎	不活化													①	③		(7.5歳まで)				④9-12歳			
														②										
インフルエンザ	不活化																						毎年 (10、11月などに) ①②	
																							13歳より①	
ヒトパピローマウイルス (HPV)	不活化																				(注13)	小6	中1 ①②③ (注14)	中2～高1

定期接種の推奨期間
 定期接種の接種可能な期間
 任意接種の推奨期間
 任意接種の接種可能な期間
 添付文書には記載されていないが小児科学会として推奨する期間
 健康保険での接種時期

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュールの変更点 2018年8月1日版 日本小児科学会



- 1) 2018年1月の3種混合ワクチンの販売の再開を受けて、3種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンをスケジュールに再度入れました。それに伴い、学童期以降の百日咳とポリオに対する免疫を維持するために、就学前の3種混合・不活化ポリオワクチンの追加接種についての推奨（任意接種）を加えました。詳細は、「日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール 標準的接種期間・日本小児科学会の考え方・注意事項」の（注7）（注9）をご参照ください。
- 2) スケジュール内の2種混合ワクチンの位置を4種混合・3種混合ワクチンと一緒にし、2種混合ワクチンの代わりに、3種混合ワクチンでも追加接種ができること（ただし任意接種：（注8））を記載しました。